

ENSEMBLE CLASSICA TRIO

Yuka Shitamatsu

オペラの殿堂ミラノ・スカラ座で38年もの間、首席フルート奏者を務めてきたローマーノ・プッチ氏を中心に組まれたアンサンブル。今年で結成17年となるこのトリオはイタリアのみならず欧州の至るところで人気を博し、言葉では到底表現することのできない究極の音のパフォーマンスにより多くを魅了してきました。すべてのアレンジを手掛けるギターのパフェビオ・スプルッツォラ氏、クラリネットを時としてマンドリンに持ち替えてはイタリアの憂いを描くイヴァーノ・ブランビッラ氏。彼らの奏するオペラをはじめとするクラシック音楽、カンツォーネなど庶民的歌曲、そして世界中で知られているイタリア映画音楽は、その一流のテクニックに裏付けられているだけではなく、曲のすべてにおいてイタリアらしさ、とくに織りなされる音と音との中で生まれる揺らぎを感じさせてくれる極上のものなのです。日本においては中々聴くことのできない甘美な響と音の浮遊をこの会場の皆様感じていただきたいというのがこのコンサートの何よりのコンセプトです。今回イタリアで研鑽を積んだソプラノ歌手、下松由夏が加わることで更なる臨場感、そして音楽のもつ更なる可能性をお届けできるはずです。



ローマーノ・プッチ
Romano Pucci
(フルート)

ローマ公立のサンタ・チェチーリア音楽院を卒業。80年、イタリア国営ラジオスイスの国際オーケストラコンクールの優勝者となり、優雅な音楽性と卓越したテクニックをイタリア内外に披露することになる。30年以上をスカラ座フィルハーモニー管弦楽団の首席フルート奏者として活躍。リッカルド・ムーティをはじめ多くの著名指揮者、演奏家と共演しながらオペラ・バレエはもちろんシンフォニック・コンサートでは首席奏者としての重責を果たしている。同劇場の来日公演にも参加。スカラ座を定年になると自らが中核を担う様々なアンサンブル活動を展開。アンサンブル・クラシカ・トリオのリーダー。



ファビオ・スプルッツォラ
Fabio Spruzzola
(ギター)

ミラノの国立ヴェルディ音楽院を卒業。80年前半より数々の国際コンクールに入賞してソロのギタリストとしての頭角を現す。ミラノ・スカラ座をはじめ同じくミラノにあるピッコロ劇場、ジュネーブの歌劇場などに出演してヴェルディ、ドニゼッティ、ロッシーニのオペラ作品に組み込まれたギターソロ部門を担当している。近年ではスカラ座室内楽団、スカラ座六重奏団、ベルガモ歌劇場のアンサンブルのソロ奏者として活躍。ミラノ音楽院、ヴェローナ音楽院などで後進の指導にあたっている。



イヴァーノ・ブランビッラ
Ivano Brambilla
(クラリネット&マンドリン)

ミラノにある国立ヴェルディ音楽院室内楽団のソリストを務める一方ミラノを本拠とするボメリッジ・ムジカーリ管弦楽団の団員としても活動中。シュトラスブルグ宮殿、テキサス工科大学、コロンバス大学や北京クラリネットフェスティバル、オステンドクラリネットフェスティバルにオーケストラ、また室内楽団で参加している。作曲や編曲をも手掛けておりマンドリン奏者としても秀逸である。



下松 由夏
Yuka Shitamatsu
(ソプラノ)

武蔵野音楽大学声楽科卒業。1993年イタリア・ミラノに留学。帰国後、第70回日本演奏連盟推薦演奏会入賞。アジア大会ゲストプログラムオペラ、広島国体記念オペラ、ひろしまオペラルネッサンス主催ガラコンサート、広島市文化財団主催コンサート等数多くのコンサート・オペラ・ミュージカルに出演。宗教曲のソリストとしても活躍。スメタナ室内合奏団、広島交響楽団等オーケストラとも共演し好評を博す。CD「名曲の花束」発売。「カンタ・アフロディーテ」主宰。女声合唱団「コール百音」指導。